

第11回

くらしの足をみんなで考える全国フォーラム2022

デジタルポスターセッション

発表資料

目次

発表者名	発表タイトル
松江市交通局	—子どもから高齢者まで— 松江市交通局の全世代に向けた利用促進の取り組み
国際興業株式会社	飯能地区における地域旅客運送サービス継続事業 —路線バス事業者自らが受け皿となるケース—
大分交通株式会社	LINE を活用した空港バスのスマート決済
株式会社電脳交通	新しい地域交通の実装
株式会社システムオリジン	遠隔点呼の可能性について考えてみました
一般社団法人 子育てタクシー協会	子育て家庭に移動支援はどうあるべきか —全国調査結果から地方に即した施策提言をタクシー視点からも 考えてみよう—
JCOM 株式会社	社内営業車相乗りの取り組みについて
株式会社 NOAA	もっと自由に行きたい所に行く方法（車いすと意識しない電動車いす） の普及
横浜市都市整備局 都市交通課	日常生活を支える持続可能な地域交通の実現
一般社団法人 グローバル交流推進機構	「地域に合った移動の仕組み作り」等の助成事業から見えてきたもの —トヨタ・モビリティ基金（TMF）のチャレンジを通して—
綾西みんなの足	楽しいおでかけと暮らしの足をつくる綾西みんなの足

（敬称略・発表順）

—子どもから高齢者まで— 松江市交通局の全世代に向けた利用促進の取り組み

松江市交通局 運輸課 課長 佐藤 広樹 ・ 副主任 安部 耕太郎

- 押しポイント
 - ①公民館にもゲートボール場にも!? どこでも伺います! 高齢者対象乗り方教室の実施
 - ②他モードも巻き込んで公共交通利用促進! 小学生以下無料乗車イベントの実施
 - ③コロナに負けるな! バスマつり in松江 3年ぶりの開催

■キーワード 協創 ・ 連携

① どこでも伺います! 高齢者対象のICカードを使ったバス乗り方教室

共創 連携

普及が伸び悩む『高齢者優待ICOCA』の利用促進のため、高齢者を対象にしたバス乗り方教室を開催。



- 実施主体 松江市交通局・一畑バス(株)
- 対象 10名以上のグループ・団体
- 内容
 - ・団体の所在地等で運行事業者を選択
 - ・実際の路線バス車両を用いて乗り方を体験
 - ・高齢者優待ICOCAの出張販売
 - 受付後 後日郵送
- 実績・効果 (令和4年9月末現在)
 - ・実施件数=9件 延べ参加人員161名
 - ・高齢者優待ICOCA販売数=82件
- 今後の予定 (令和4年9月末現在)
 - ・実施予定=10月7件・11月4件実施予定



② 他モードを巻き込んで公共交通利用促進! 小学生以下無料乗車イベント

共創 連携

いつもと違う『公共交通でのおでかけ』を通じて、思い出に残る休日を過ごしてもらうための取り組み。

- 実施主体 松江市交通局・一畑バス(株)・一畑電車(株)・松江市コミュニティバス 3年ぶり実施の今回から『一畑電車』も参画し、他モード連携!
- 対象 主にファミリー層 (小学校6年生以下を無料とする)
- 内容
 - ・9月17日~10月30日までの「土日祝日」が対象日
 - ・専用チラシにある利用券を切り取って、利用時に運賃箱に投入
 - ・専用チラシは複写可! 個人での使用上限なし
 - ・運輸局等への申請は参画各社が実施
- 実績・効果 (令和4年10月12日現在)
 - ・交通局延べ利用件数 425件 **3年前開催時の既に4倍!**
- 今後の予定
 - ・利用状況を分析し、次年度以降への継続実施に向けて取り組む

③ コロナに負けるな! 『バスマつり in 松江』3年ぶりに開催!

共創 連携



- 実施主体 松江市交通局・一畑バス(株)
- 内容
 - ・バス運転体験 (会場駐車場の一角で教習車を使用)
 - ・バス試乗会 (中国JRバス オープントップバス)
 - ・バスと綱引き (観光バス車両との綱引き)
 - ・抽選会、グッズ販売、遊びコーナー、ショーなど
- 実績・効果
 - ・来場者数 約4,800人 **3年前開催時の約2倍!**

飯能地区における地域旅客運送サービス継続事業 路線バス事業者自らが受け皿となるケース

国際興業株式会社 運輸事業部業務課 久武 雅人

■押しポイント

後継事業者がなかった事例において、バス事業者自らが受け皿になり地域旅客運送サービス継続事業を行った点

■キーワード:「サービス継続事業」、「地域・行政・事業者一体」、「ダウンサイジング」

国際興業(株)飯能営業所

飯能営業所は、埼玉県南西部の飯能市及び日高市及び毛呂山町の一部で路線バスの運行を行っております。特に飯能市は約7割が山野で、南東部に市街地が展開しています。飯能営業所は33両(2022.9.30現在)で当該地区の輸送を担っています。

新しい移動手段の特徴

- 地方では、地域旅客運送サービス継続事業を行うにも受け皿事業者がない場合もある。→状況によっては、乗合事業を行っていた事業者自らが受け皿となる選択肢もある。
- 乗合事業者自らが行うことでスムーズな対応が可能。
 - ・直通便と接続便の併用など柔軟な路線設定
 - ・接続便の乗り継ぎダイヤの設定
 - ・既存バス路線の定期券等の乗車券の利用が可能
- サービス継続事業はAI デマンド交通が選択されることが多いが、「谷間の1本道」「乗客の顔が見える」という条件下では、定時定路線が適している場合も。
- 地区ごとに各3回の話し合いを行い地域、行政、事業者が一体となって運行計画を検討。

導入までの経緯

- 2021年10月飯能市地域公共交通対策協議会において当社中藤・中沢線及び間野黒指線(南高麗)の見直しについて審議し、了承を得る。
- 2022年1月31日「飯能市地域公共交通網形成計画」(計画期間:平成30年度~令和4年度)が一部改訂され、「飯能市地域公共交通計画」が策定される。
 - その中で、当社中藤・中沢線及び間野黒指線について、地域旅客運送サービス継続事業を活用して最適化を行う路線として位置づけられる。
- 2022年3月7日飯能市より「中藤・中沢地区」及び「南高麗地区」の運行事業者の公募が行われ、運行事業者に応募。3月末に当社が運行事業者に決定。
- 2022年9月1日実証運行開始 ※4条乗合許可
- 2023年9月~本格運行(予定)

南高麗地区

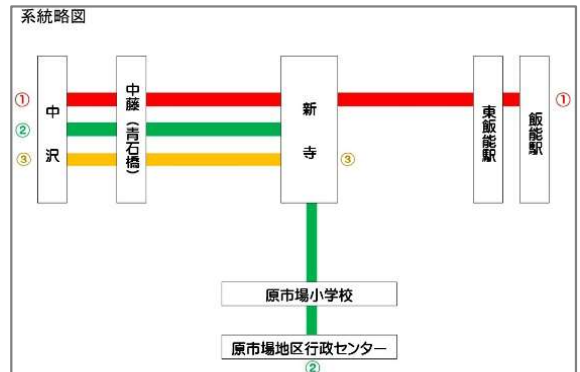
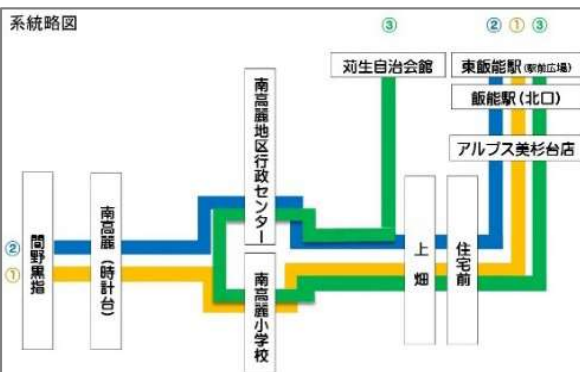
運行概要 運行事業者: 国際興業株

系統	小学校便	南高麗地区 行政センター便	苺生便
車両		14人乗りワゴン車両 	予備車両(リエッセ) 
経路	間野黒指 ~東飯能駅(駅前広場)	間野黒指 ~東飯能駅(駅前広場)	苺生自治会館 ~東飯能駅(駅前広場)
経由	・南高麗小学校 ・飯能駅	・南高麗地区行政センター ・飯能駅	・南高麗地区行政センター ・南高麗小学校 ・飯能駅
運行日	週5日(月~金) ※土休日、1/1~1/3は運休	週3日(月・水・金)	週3日(月・水・金)
便数(時間帯)	4便 (7時台~16時台)	2便 (9時台~12時台)	2便 (11時台~13時台)

原市場(中藤・中沢)地区

運行概要 運行事業者: 国際興業株

系統	飯能駅便	原市場地区 行政センター便	新寺便
車両	大型バス 	14人乗りワゴン車両 	予備車両(リエッセ) 
経路	中沢~新寺~飯能駅	中沢~新寺~原市場地区 行政センター	中沢~新寺
運行日	毎日	週3日(月・水・金)	毎日
便数(時間帯)	平日: 2便(6時台~7時台) 土休日: 1.5便(7時台~9時台)	3便(9時台~12時台)	5便(17時台~20時台) 3便(17時台~19時台)



■連絡先: 国際興業株式会社 運輸事業部業務課 久武 雅人 <m-hisatake@kokusaikogyo.co.jp>

LINE を活用した空港バスのスマート決済

大分交通株式会社 大分営業所 小野・蛸谷

押しポイント

令和4年3月より、大分空港リムジンバスのキャッシュレス決済を開始しました。券売機や窓口にながむことなく LINE を通じてチケットが買え、スマホに表示される QR コードをバスの読み取り機にかざすだけでスムーズに乗車できます。このため LINE の友だち登録者数が急増し、現在は他路線への拡大を検討しています。



キーワード

モバイルチケット、キャッシュレス、MaaS

特徴

- ◆ 新たなアプリのダウンロードが不要。LINE で友だち追加。
- ◆ カード決済し、QR コードを読み取り機にかざすだけ。
- ◆ 買ったチケットを LINE の友だちにプレゼントできる。
- ◆ 複数人精算ができる（1台のスマホで複数人同時決済）。
- ◆ 最安値検索ができる（複数人利用の場合、自動で最安値となる乗車券の組合せで決済）。
- ◆ リアルタイムに利用実績が把握できる（売上・利用人員等の把握）。
- ◆ 共同運行会社とプール精算が出来る。
- ◆ ちょっとだけ MaaS(Google Maps・ANA MaaS・バスロケシステムと連携)。



実績と効果



- ◆ 大分空港の窓口及び自動券売機の列が減少！（並ばずスムーズにバスに乗車出来ると好評）
- ◆ 窓口がないバス停を利用するお客様から喜ばれている！
- ◆ 親御さんが帰省するお子様にプレゼントするケースが多数ある！



今後の課題

- ◆ API 連携 Google Maps や ANA MaaS などの検索結果と直接連携したい！ 非現実的???
- （例えば、Google Maps の検索結果である停留所名を当システムに流し込みたい）
- ◆ 販路拡大 上記以外のジョルダンや駅探とも連携したい！
- ◆ 決済端末 IC カードと QR の読み取り機を 1 台に纏めたい！

備考

- ◆ 大分県より「デジタル技術を活用した乗合バス感染症対策事業」として導入費を補助して頂きました。
- ◆ システムはモバイルクリエイイト株式会社に開発して頂きました。

連絡先

ono4697@oitakotsu.co.jp 大分交通株式会社 大分営業所 小野

電脳交通

電脳交通のミッション

「すべての人がいつでも生活に必要な移動ができる社会」と
「地域に必要な移動を支える交通事業者がいつまでも存続可能な社会」の実現



タクシー業界のDXを推進



地域交通のアップデートを支援

クラウド型配車システム 「電脳交通®」



▶ 提供しています

クラウド型配車センター 「電脳配車室」 (予約受付配車業務受託)



電脳交通プロダクト・サービス
を活用してより地域の移動を
支えるために



デマンド・乗合交通

公共交通撤退地域での 代替交通

自家用有償等の 共助型交通

要介護者輸送等の 様々な実証実験

MaaSへの取り組み

▶ サポートしています

2022年9月時点、**43都道府県**で導入！

大手タクシー事業様、中小タクシー事業者様にご導入いただいています

2022年9月時点、**全国20以上**の導入実績！



配車依頼、予約

予約受付、配車業務

ドライバーへの指示

データ分析



電話



WEB



アプリ等

※別途開発が必要



電脳交通にて
受託可

- ・電話予約受付
- ・お問い合わせ対応
- ・顧客データ蓄積
- ・即時配車、予約配車
- ・乗合ルート作成
- ・運行車両割当、変更



- ・配車情報
- ・待機順表示
- ・オペレータ通話機能
- ・乗合ルート情報
- ・お客様情報



- ・予約履歴
- ・乗降人数
- ・乗降地点
- ・乗降時間
- ・乗降地点ヒートマップ
- ほか多数

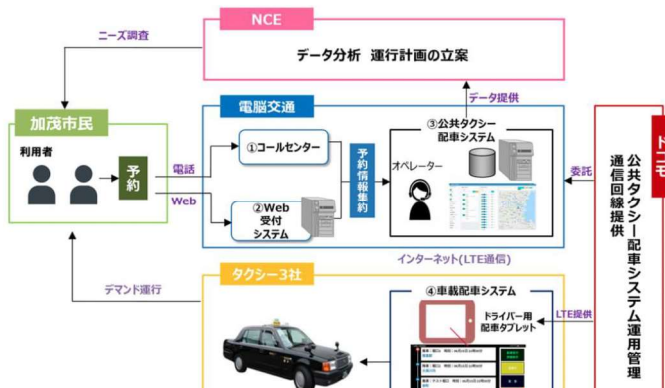
デマンド交通への支援

新潟県加茂市「かもんタクシー」

- ✓ タクシー配車とデマンド配車を同時に実現
- ✓ 運行事業者3社を束ねた運行支援を実施



- ・期間 | 2021年10月～
- ・関係者 | 加茂市、NTTドコモ、NCE、葵タクシー、加茂タクシー、中越交通、電脳交通
- ・概要 | 市民バスの大幅見直しに合わせて乗合タクシーを新規導入。朝8時以降始発の市民バスを8路線→基幹2路線へ見直し、1時間1便の乗合タクシーを1時間前予約で市内全域をデマンド化。
- ・提供 | タクシー配車システム（乗合配車機能）、コールセンター委託



共同配車

新潟県新潟市「タクシーステーション新潟」

- ✓ 一つの電話番号から複数事業者のタクシーを呼び出す仕組み
- ✓ 各社配車室のみを統合し、経営を効率化

- ・期間 | 2022年7月～
- ・関係者 | 万代タクシー株式会社、電脳交通
- ・概要 | 共同配車とは、タクシー会社内で配車オペレーション業務を行う「配車室」を複数会社に跨って統合し、タクシー車両を迅速にお客様の下へ向かわせる仕組み。万代タクシーが開始する共同配車事業「タクシーステーション新潟」では、一つの電話番号で複数事業者のタクシーを呼び出すことが可能。
- ・提供 | タクシー配車システム、共同配車室の立ち上げ支援



- 利用者 | タクシー会社ごとに電話をかけなくても配車を頼める！
- 事業者 | 配車室の統合で、採用や人材育成コストを抑制できる！

遠隔点呼の可能性について考えてみました

株式会社システムオリジン 辻 裕

■押しポイント

令和4年 7月1日より、遠隔点呼が実施出来るようになりました(申請開始は4月1日より)。新ルール解禁直後なので、まだまだ相当ハードルの高い運用が義務付けられています。「現状のルールの確認」「いまならこういう効果」「将来こうなって欲しい」を提案させていただきます。

■キーワード 遠隔点呼、運行管理者削減、点呼業務 受委託



●現状、運行管理者が減る仕掛けではない

- ・遠隔点呼採用後も、営業所毎39台に一人 運行管理者の選任が必要
⇒実情は、実務面・勤務サイクル都合により最小人数より多く運行管理者を選任しているケースが多い
- ・国土交通省としては営業所の完全な無人化は想定していない

【提案として】

- ・被遠隔点呼側の運行管理者の選任を最小(39台に一人)まで減らし、数名の乗務員を代務者選任する
※遠隔点呼実施不可能時、対面点呼対応の点呼要員キープとして
- ・運行管理者を選任したままドライバーに回す
※乗務員不足を補う手段として(多くの運行管理者は乗務員経験者の為)

●点呼業務に限り、運行管理者の業務を、集中と合理化が可能

- ・本社の運行管理者は全社的業務(忘れ物や事故対応)で忙しく、日中留守が多い
- ・営業所は、他業務がないのでほぼ事務所に滞在してる

【提案として】

- ・夕方等の、少数の点呼は全て営業所側の運行管理者が実施
⇒運行管理者の点呼実施率が上がり、点呼の安全レベルが上がる
(規定上は運行管理者が1/3以上を実施)

●将来、運行管理の受委託を期待

- ・現在既に、貨物では運行管理業務の受委託が許可されている
⇒このルールが適応されれば、点呼のアウトソーシングが可能になる
- ・郡部では社長(高齢)だけが運行管理者である事例も多くなり
入院(場合によっては急逝)されたりすると運行出来なくなるケースもある
⇒こういった小台数事業者を救う事ができる
- ・受託できる規模の事業者は、運行管理請負というビジネス発生の可能性がある
- ・配車アウトソーシングとの併用で、夜間の完全な無人化が実現する

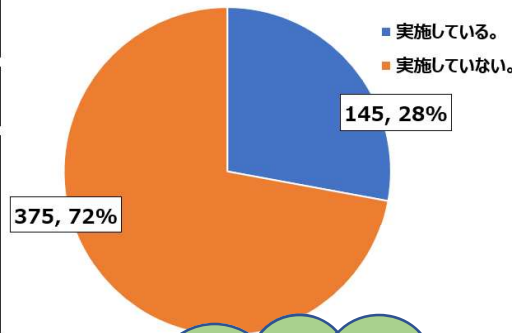
■連絡先 tuzi@system-origin.jp

子育て家庭に移動支援はどうあるべきか 全国調査結果から地方に即した施策提言を タクシー視点からも考えてみよう

(一社) 全国子育てタクシー協会では、子育て支援に関して、タクシーを活用する移動支援事業についてアンケート調査を行い多様な事例がわかりました。子育てを支える交通施策はどうあるべきかという視点から地方自治体とタクシー業界のコミュニケーションが始まることを期待します。本調査結果を是非活用してください。

子育て家庭のタクシーを活用した移動支援に関する調査

調査対象	520自治体（5万人以上の基礎自治体）
回答期間	2022年8月25日～9月25日
回答方法	WEB又はFAX
回答数	203自治体
質問項目	子育て支援 妊婦支援 多胎児支援で、 タクシーを活用した 事業の有無 その内容と意見



- ### 事例
- ・電子マネーカードでタクシー利用
 - ・利用者乗合のデマンドタクシー
 - ・放課後学童クラブの送迎にデマンドタクシーを利用する支援
 - ・民間放課後学童クラブが学校外にある場合の移動を担うタクシー会社へ補助金
 - ・タクシーアプリ 5000円分クーポン等

- ### 気づき
- ◎利用者補助をしたとしても、タクシー運賃の経済的負担は大きいとの指摘が見られた。
 - ◎公共交通が少ない地域や積雪の多い地域でのニーズを指摘する自治体が複数見られた。
 - ◎妊産婦支援としてタクシーに期待はするが、供給（夜間の配車やチャイルドシート）に関して懸念されている。
 - ◎他自治体の事例を知りたいという声が多い 等

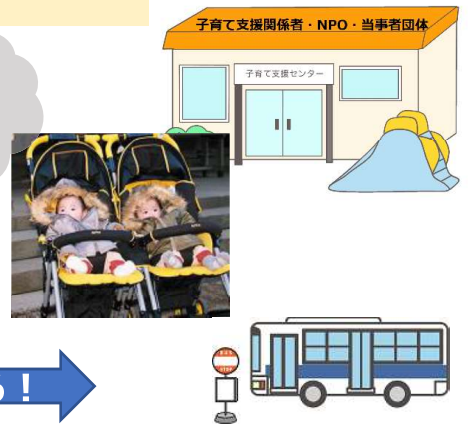
ポイント1 自宅の中に入ることもある、産前産後の病院の送迎から園児、学童の送迎もOK。行政のサポートが届かないところの【足】や【目】になれる。

ポイント2 子育て家庭も交通弱者、多胎、妊産婦支援、子育て支援のわがまちの課題だ

自治体職員



移動困難



意見交換すればヒントが見つかる!

ポイント3 【タクシー】が使いやすくなることで子育ての課題解決に有効なことがあるはず。子育て世代のニーズをよく知る福祉・子育て支援関係者との連携で、暮らしやすいまちづくりを考えてみませんか

JCOM株式会社 社内営業車相乗りの取り組みについて

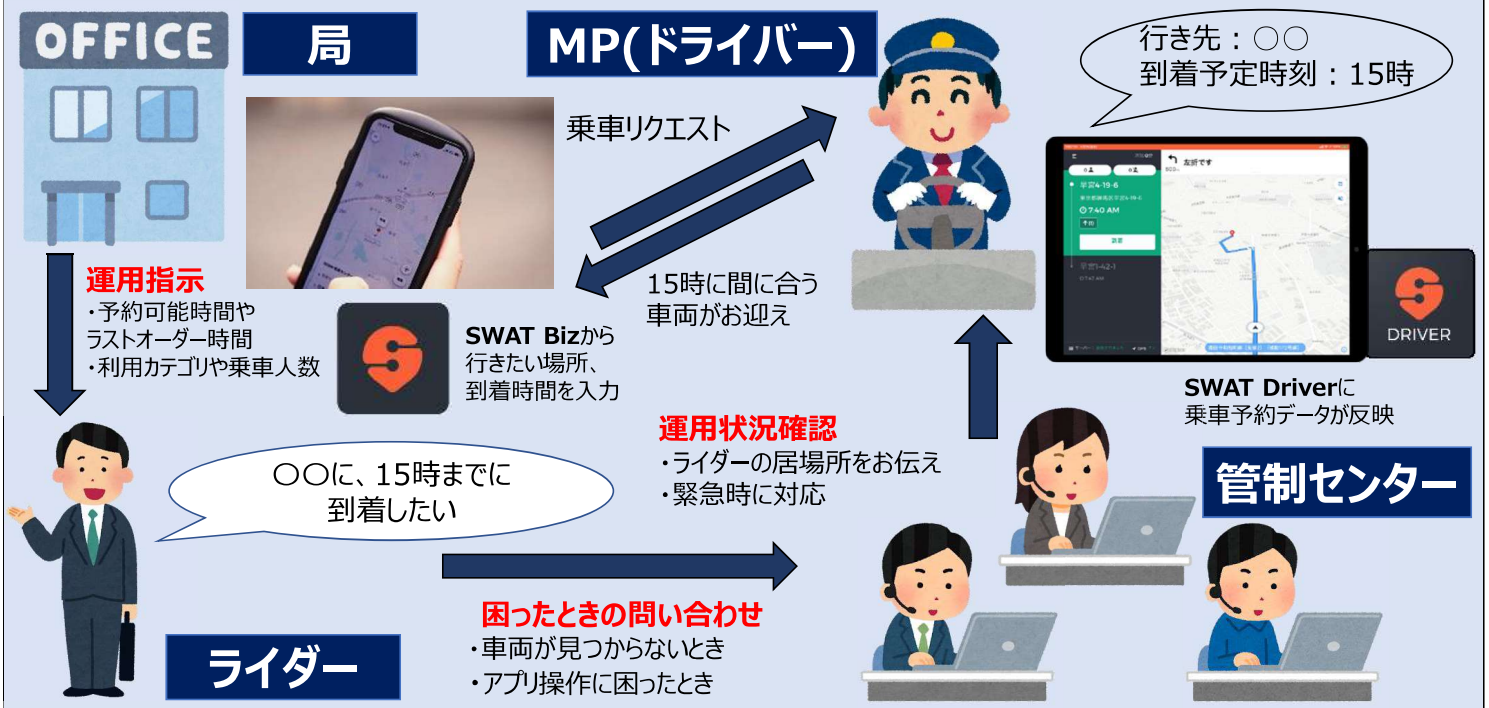
JCOM株式会社・MaaSチーム

■ 押しポイント

- J:COMグループは、地域の足を守る新しいモビリティサービスの実現を目指し、2020年7月よりJ:COM MaaS（相乗りサービス）の実証実験を東京と大阪で実施、2021年4月より対象を全国約4,500台の営業車に広げ順次展開しております。2022年10月現在、全国13拠点でJ:COM MaaSを開始いたしました。

■ キーワード：★アプリを活用、4,500台の軽自動車から相乗りミニバンへ ★事故削減 ★環境負荷対策（CO2削減）

■ J:COM MaaS運用流れ



■ J:COM MaaS 運行実績・導入局

➢ 運行実績(2020年7月~2022年9月) :

【乗車回数】16万回 【延べ利用者数】3.6万人

➢ 導入局：合計13局（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、大阪府）

■ 営業員満足度

営業員からのアンケート回答
「MaaS導入によって良かったこと」TOP 3

- 1位 自分で運転しなくてよい
- 2位 車内で電話などの業務ができる
- 3位 駐車場を探したり歩かなくて済む

Before: これまでの軽自動車



After: 営業員向け相乗り



■ 連絡先 ML_BI_SUPERCITY@jupiter.jcom.co.jp 担当：亀割、桑原

もっと自由に行きたい所に行く方法（車いすと意識しない電動車いす）の普及

(株) NOAA 西原基成

■押しポイント 国交省認定ハンドル型電動車いす ・誰もが乗りたくなる福祉・介護的イメージを払拭したデザイン ・航空機級のアルミ材使用による高剛性、軽量車体で折り畳んで航空機・電車・バス搭載可能 ・宅急便配送可能 ・旅行先・商業施設等での楽々移動が可能 ・最小の収納スペース

■キーワード パーソナルモビリティ 電動 脱介護

従来の電動車いすとの違い

1) 要介護者向き

病人専用イメージが強く健康者は乗る事を拒否しがちジョイスティック操作が困難・かなり練習が必要椅子に座っている状態のため、下り坂などは怖い自宅から100m圏内の利用目的



2) 要介護者・アクティブシニア

大型のためタクシーなどへの搭載不可で施設内利用には不向き、自動車の発想での安全性が高く、自宅から500m圏内の利用目的

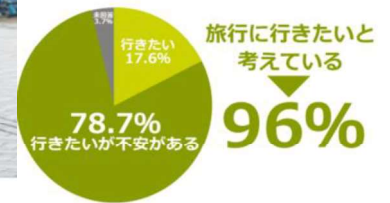


3) アクティブシニアから若年層まで

タクシー・バス・電車などに搭載可能なので、自宅から遠隔地まで自由に利用可能自転車感覚で乗って安全性が高い



高齢者の旅行参加意欲



空港・駅などでの貸し出しサービス

バリアフリーネットワーク会議
那覇空港しようがい者・こわい者観光案内所より貸出開始 (2022年9月18日)



那覇空港しようがい者・こわい者観光案内所

那覇に続き、福岡・札幌に続き、道の駅・SAなども連携を強めていく

バリアフリーネットワーク会議とは

障がいのある児童、また高齢者、その他の手助けを必要とする人々の、生活や余暇活動時における介助等を包括的に支援しています。すべての人々が健やかに自由に暮らせる地域社会づくりを目的とし、「真のバリアフリー社会」の実現・ハンディキャップのある人々の積極的な社会参加への実現に寄与する活動を行っています。



福岡空港・案内所

どこでも車いす・ベビーカー・参画
国土交通省・九州運輸局・バリアフリーネットワーク会議



観光バス・観光タクシー

久々野観光 (岐阜県高山市)

観光バスに搭載し利用。JOYカートに乗る事で、スムーズな現地移動や新しい観光体験スタイルを提案し、利用者増を達成。

観光庁・既存観光拠点の再生・高付加価値推進事業に認定された。



愛知県個人タクシー組合

トランクにJOYカートを搭載。平日昼間の閑散期に、シニア層の需要を喚起する事に成功通常メニュー化

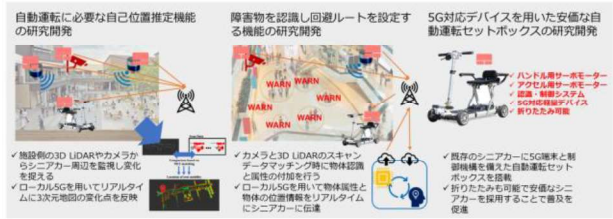
東京都個人タクシー組合

カート無料の期間限定サービス開始
2023年は有料化 (予定)



施設内自動運転 (芝浦工大)

2022年度 下期予定
システム理工学部機械制御システム学科 伊東敏夫教授
シニアカーの自動運転の研究への協力



足の駅構想



日常生活を支える持続可能な地域交通の実現

横浜市都市整備局都市交通課 小倉哲人

■ 押しポイント

市民・企業・交通事業者等と協調した取組を一層推進するため、「横浜都市交通計画」を策定（H20年策定、H30年改定）し、『誰もが移動しやすい地域交通の実現』を政策目標としています。

地域主体の取組への支援を通じ、地域が地域に適したサービスを選択できることが重要であり、様々な移動シーンに応じたサービスを具体化していきます。

■ キーワード 地域交通、公共交通利用促進、多様な主体の連携

★日常生活の様々な移動シーンに応じたサービスを具体化★

ライフスタイルが多様化する中、日常生活の様々な移動シーンに応じたサービスを選択できることが重要

<時間帯による需要のイメージ>

朝・夕 ⇒ 通勤・通学目的が主（同一目的） ⇒ 大規模需要
 昼間 ⇒ 高齢者等の買物・通院・趣味娯楽など様々な移動目的 ⇒ 小規模需要

<取組の柱>

バスネットワークの維持

地域内の多様な移動ニーズへの対応
 （新たな移動サービスの導入）

公共交通の利用促進
 （モビリティマネジメントの推進）

<様々な実証実験・検討(R4年度)>

- ・路線バス車両の小型化（ワゴン型等）
- ・デマンド型交通
- ・移動サービスと生活サービスの連携
- ・小規模需要への対応（タクシーを活用した相乗り等）
- ・担い手確保（自家用車による運送の運転者講習等）
- ・学校モビリティマネジメント（出前授業） 等

「小規模需要への対応（タクシーを活用した相乗り等）」

★趣旨

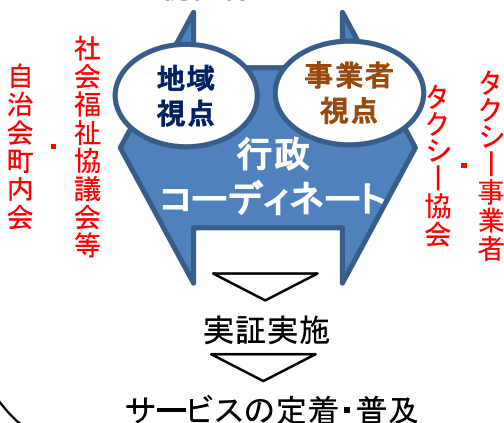
高齢者の移動など、きめ細かな重要（小規模需要）へ対応できる移動サービスを検討

★連携体制

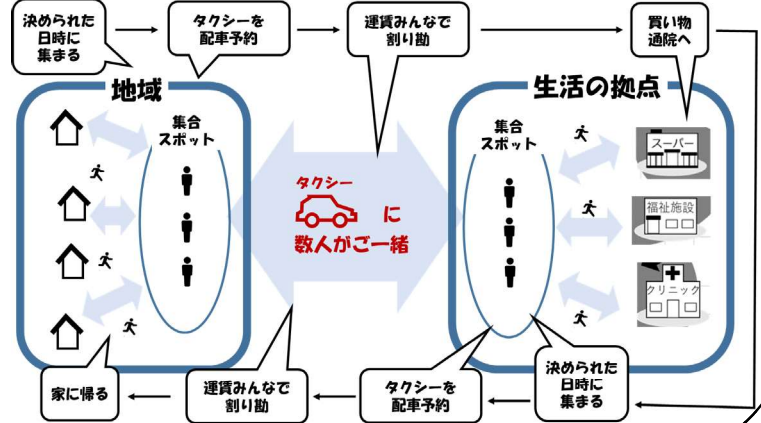
移動が課題となる暮らしのシーンを捉え、利用しやすいサービスを具体化

- ・自治会町内会など地域主体の取組を支援することを重要視
- ・連携体制として、社会福祉協議会など地域に身近な関係者と一体となって取り組むことが大切

<連携体制のイメージ>



<相乗りのイメージ>



「地域に合った移動の仕組み作り」等の助成事業から見てきたもの ートヨタ・モビリティ基金(TMF)のチャレンジを通してー

土井勉・田中巖(グローバル交流推進機構) 地紙利通・宮本明子・窪田彩(トヨタ・モビリティ基金)
 伊藤みどり(全国移動サービスネットワーク) 井原雄人(早稲田大学) 鈴木雅剛(ボードレス・ジャパン)
 長野博一(高崎経済大学) 福本雅之(おでかけカンパニー) 吉田樹(福島大学)

■押しポイント(111字)

助成事業から得た知見を、「移動の仕組み作り」のプロセスをまとめた「手順書」や、運営課題(お困りごと)から対応事例を検索できる「処方箋(WEB版)」として発信し、全国の「移動の仕組み作り」に取り組む人々を支える仕組みを作ります。

■キーワード(3つ) 地域に合った移動の仕組みづくり 運営(協力)体制の確立・継続 運営・運行内容の改善

助成事業の概要

■「地域に合った移動の仕組み作り」の概要 :課題解決へ向けた5つのアプローチ



手段	デマンド(事前予約制の交通)	コミバス・路線バス	互助輸送	その他
地域交通維持	京都府 相楽東部地域公共交通再編協議会 鳥取県 中央大学 研究開発機構 岡山県 久米南町(総務企画課) 青森県 八戸地域公共交通会議	岐阜県 (一社)最先端田舎中津川 兵庫県 豊岡市(都市整備課)		長野県 県庁(企画振興部)
高齢者・物障がい・療育施設等の集外支援	北海道 初山附村 神奈川県 NPO法人 つばさ福祉送迎 兵庫県 株式会社こみなみ 滋賀県 竜王MaaS協議会 兵庫県 ネットトヨタ匿名川 鳥根県 三成郷づくりの会 愛媛県 ネットトヨタ瀬戸内 宮崎県 青島地域振興協議会 鹿児島県 藤川地区コミュニティ協議会 鹿児島県 鹿児島トヨタ 神奈川県 神奈川県 (一財)若葉台まちづくりセンター	北海道 当別町地域公共交通活性化協議会 兵庫県 福崎町 兵庫県 神戸マツダ 福島県 郡山観光交通	宮城県 NPO法人 移動支援Rera 宮城県 (一社)日本カーシェアリング協会 神奈川県 仏向地区社会福祉協議会 兵庫県 黒田まちづくり協議会 徳島県 社会福祉法人 池田博愛会	東京都 NPO法人 八王子共生社会推進会議 長野県 伊那市 山口県 NPO法人 ほほえみの郷トイトイ
他			富山県 (一社)ジソワラボ	石川県 輪島商工会議所 熊本県 イーモビネット

成果の発信1:スタートアップを支える「手順書」



移動の仕組み 8STEP

サービス実施までにどんな検討プロセスがあるのか、また各プロセスで何をやるのか、必要な「行動」を一覧でご覧いただけます。

STEP8は、必ずしもこの順番で実施する必要はありません。また、STEP8は必ずしも実施する必要はありません。

STEP	STEP1	STEP2	STEP3	STEP4	STEP5	STEP6	STEP7	STEP8
目的	現状を把握し、方向性を描く	「移動手段」には何が「あるかを確認	合意を得るための土台づくり	困っている人の声と真の把握	サービスの「あたり」をつける	具体的なサービスの設計	実施体制を構築する	取り組みの評価と改善
実施主体	自治体 民間事業者 住民	自治体 民間事業者 住民	自治体 民間事業者 住民	自治体 民間事業者 住民	自治体 民間事業者 住民	自治体 民間事業者 住民	自治体 民間事業者 住民	自治体 民間事業者 住民

助成事業の実施や数多くの事例を調べる中で、どの地域の検討プロセスにおいても押さえておくべきポイントや、成功事例に共通するポイントが見えてきました。
 このプロセスを整理して、活動を推進する冊子を作成し、下記リンクにて公開しています。
<http://min-mobi.jp/useful/>

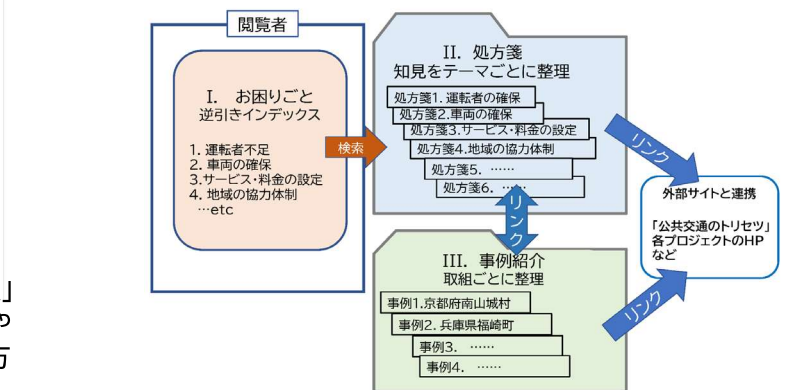


成果の発信2:お困りを助ける「処方箋」

困りごとをクリックすると、困りごとに対する処方箋を見ることができます。

- 【困りごと①】 運転者の確保
- 【困りごと②】 車両の確保や管理
- 【困りごと③】 サービス内容(料金含む)の設定
- 【困りごと④】 地域を巻き込んだ組織の作り方
- 【困りごと⑤】 コスト構造 ※費用の妥当性(効果)
- 【困りごと⑥】 利用者数を増やすための方法

移動の問題に取り組む際に生じる「ドライバーの不足」「利用促進の方策」などのお困りごとに対して、問題や参考にしたい事例から逆引きで情報提供を行う「処方箋」を作成し、WEBで公開する予定です。





楽しいお出かけと暮らしの足をつくる

綾西みんなの足

「綾西みんなの足」ではこんな活動をしています。

高齢者が増える地域で楽しく便利な「足」が重要です。「たのしいお出かけと暮らしの足をつくる」をモットーに！

①お出かけバス

光綾公園のバラ見物、保健福祉プラザ見学
エコプラザ見学とあわせてロピアなどへのお買い物



②バザール大市 お帰りの足運行

③ワクチン号運行 市と協力して接種

会場と自宅を結び、あわせて予約も代行

④「くるりん号」5か月間実証実験実施

国土交通省の提供、実験活動によりグリーンスローモビリティの地域に於ける活用を模索

⑤サロン事業を開始し高齢者の孤独防止やお買い物のお手伝いを毎月2回実施

⑥相鉄ローゼン閉鎖に伴い毎週火曜日お買い物バス運行 地域ボランティア 運転、介助ほか



*綾西地区はこんな地域です
人口3、517人 世帯数 1、586世帯
自治会創立 50周年 経過
高齢化率 40、5% (市平均27%)
単身世帯がめだつようになってきた

「どこへ出かけるにも足がない」「免許返納したらたちまち困った」「バスが不便、コミバスもいつ来るのやら」等の声が多くなりました。

*あゆみ

2018年「西部地区暮らしの足」として発足 見学会や学習会を開催

2019年「綾瀬市住民参加型移動支援事業制度」を創設。貸出し用ワゴン車購入 市職員運転によりプロジェクトを開始

2020年 「綾西みんなの足」と名称変更

10月～3月グリーンスローモビリティ実証実験

2021年から現在 ワクチン号運行、お買い物バス、お出かけバス、お帰りの足運行

